

作業療法士向けのポータルサイト設立における アンケート調査

Questionnaire survey on the establishment of a portal site for occupational therapists

発表者: 川畑祥子(OT) ¹⁾

協同演者: 柳本麻里 (OT) ²⁾, 高木洋平 (OT) ³⁾

細川雄平 (OT) ⁴⁾, 山内匡也 (OT) ⁵⁾

1) 医療療法人康生会 豊中平成病院

2) 医療療法人平成博愛会 徳島平成病院

3) 医療法人社団大和会 平成扇病院

4) 平成リハビリテーション専門学校

5) 医療法人社団淡路平成会 東浦平成病院

第56回日本作業療法学会 COI開示

筆頭発表者名: 川畑 祥子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等はありません。

Group Map

■ 病院・クリニック数 26
■ 施設・学校数 86
(開設予定も含む/2019年3月現在)

当グループは、東京・大阪をはじめ全国に26病院、86施設・学校を開設・運営しています。治療を終えた患者さん・利用者さんを早期に受け入れ、積極的な治療とリハビリテーションを行い、短期間で在宅復帰を目指します。今後は、世界にグループの医療を広めることを目的に海外事業も展開。第一弾としてインドネシアにクリニックを開設予定です。

くわしくはグループホームページへ <http://www.hmw.gr.jp/>

① 山口県
病院 山口平成病院
施設 ケアホーム山口
ヴィラ本郷
ケアハウス山口エルベ
レジデント山口
グループホーム本郷
平成小規模多機能センター
へいせいホーム
平成デイサービスセンター平田
平成デイサービスセンター黒瀬
てとと岩国

② 徳島県
病院 徳島記念病院
江藤病院
徳島平成病院
施設 平成アメニティ
ケアホーム麗敷
ヴィラ碧占
ヴィラ羽ノ浦
ケアハウスエルベ
グループホーム碧占
グループホーム北浜
グループホーム八万
グループホーム瑞門
八万小規模多機能センター
瑞門小規模多機能センター
メディアハウス平成
麗敷デイサービスセンター
平成デイサービスセンター羽ノ浦
てとと徳島
江藤ケアセンター

③ 兵庫県
病院 東播平成病院
平成病院
南淡路病院
西宮厚生病院
神戸平成病院
大原病院
施設 ヴィラ光臨
ヴィラ播磨
ヴィラー宮
ふるさとの家
ケアホーム東播
ケアホーム南淡路
平成クラブ
かおりの丘
有馬ホロンの苑
ケアハウス東播エルベ
淡路エルベ
グループホームふれあいの家
グループホーム北淡
北淡小規模多機能センター
レジデント東播
てとと高木
コロネ淡路

学校 平成リハビリテーション専門学校
平成淡路看護専門学校

④ 大阪府
病院 豊中平成病院
平成記念病院
弥刀中央病院
岸和田平成病院
泉佐野老人会病院
堺平成病院
おうも診療所 堺
施設 ケアホーム豊中
弥刀介護老人保健施設
メディアハウス香木
レジデント豊中
優人会小規模多機能センター
中央デイサービスセンター
麗志 千里山
サポートあいかわ
グループホーム エスペランサ
えんじよい
てとと東大阪

DANKE
P&M
大阪府のそのほのほクラブ
あき夢
近江織物が、健康・生活支援センター
福祉推進老人ホーム 近江織物の家
近江織物の家 高槻駅前デイサービスセンター
近江織物の家 高槻駅前デイサービスセンター
十三プラザ
たんぽぽケアセンター
ホームヘルプサービス事業 たんぽぽ
地域福祉支援センター てびつと
たがわ福祉センター
堺
たんぽぽデイサービスセンターたんぽぽ

⑤ 和歌山県
施設 緑風苑

⑥ 三重県
施設 ヴィラ四日市
富洲原複合型サービスセンター
富洲原通所介護センター

⑦ 東京都
病院 世田谷記念病院
多摩川病院
緑成会病院
緑成会養育園
大内病院
大内クリニックおおくぼ
平成脳病院
施設 ケアホーム足立
ケアホーム板橋
ヴィラ町田
藤香苑
高齢者グループホームこもれび
小規模多機能センターほのぼの
平成小規模多機能センター足立
ケアホーム千鳥
ケアホーム花畑
てとと小平
てとと大岡山
豊洲通所センター
OUCHI
学校 聖和看護専門学校

⑧ 神奈川県
病院 平成横浜病院
施設 ケアホーム横浜
ケアホーム三浦
ヴィラ横浜
ヴィラ緑ヶ丘
ヴィラ南本宿
ヴィラ都筑
ヴィラ泉
ヴィラ神奈川
てとと戸塚

⑨ 千葉県
病院 印西総合病院
施設 ケアホーム船橋



平成医療福祉グループ 療法士 在籍数

	西日本	東日本	全国
理学療法士	620	394	1014
作業療法士	256	193	449
言語聴覚士	139	71	210
合計	1015	658	1673

2022年6月1日時点の人数

グループリハビリテーション部理念

「絶対に見捨てないリハビリテーション」

私たちは、「豊富な知識」を追求し、「確かな技術」を研鑽し、
「絶対に見捨てない想い」を胸に、リハビリテーションを提供します。

OT推進チーム

作業療法の専門性と可能性を追求し、臨床教育を通して、クライアントに質の高い作業療法を提供できるようにする。

ST推進
チーム

PT推進
チーム

小児リハビリ
チーム

ロボット
リハビリ
チーム

離床促進
チーム

認知症ケア
チーム

フレイル
対策
チーム

排泄リハ
チーム



序論

- 療法士の卒後教育として様々な支援体制を整えているが、OTに対する最新の知見や治療、技術に関する教育は各施設の指導体制に委ねられている。



プログラム一覧

No.	編成 実施時期	1年次カリキュラム	
001	4月	リハビリテーション部理念	講義実施を推奨
002	4月	リハ介入の導入と終結	講義実施を推奨
003	4月	診療報酬について	
004	4月	介護報酬について	
005	4月	老年症候群	講義実施を推奨
006	4月	PT・OT・ST・チームアプローチ	
007	4月	リスク管理と危険予測	講義実施を推奨
008	4月	トランスファー	講義実施を推奨
009	4月	シーティング・ポジショニング	講義実施を推奨
010	4月	臨床推論	
011	4月	摂食嚥下障害の基礎	講義実施を推奨
012	4月	適切な食事姿勢と介助方法	講義実施を推奨
013	4月	基本動作のバイオメカニクス	講義実施を推奨
014	4月	歩行のバイオメカニクス	講義実施を推奨
015	5月	ADL・IADL	
016	5月	FIM	講義実施を推奨

- 専門的な知識を持ったOTがより直接的な教育を行うにはネットワークを通じた教育支援が必要.
- 2018年2月より活動していたOT推進チームにより,同年11月からOTポータルサイト (以下,サイト) を立ち上げた.

OT推進チーム

ポータルサイトによるネットワークを通じた教育支援

各病院・施設

各現場での教育
不定期でのOTラウンド
大学教師等のSV

2018年2月

2018年11月

サイトについて

- Googleサイトを利用
- ログインアカウントを共有し,PC・スマホから無料で閲覧が可能
- 事例検討,推奨評価・訓練,訓練道具,推奨機器,おすすめ福祉用具,学会発表・論文報告,文献など様々なコンテンツを掲載
- 更新は月に2回



方法と目的

1. サイト運勢によるアンケート調査

方法：Googleフォームを用いたアンケート調査

目的：サイトの反響や活用方法,改善点等を聴取する。

対象：当グループに所属するOT420名

実施期間：2022年11月30日～12月31日

統計処理：記述統計

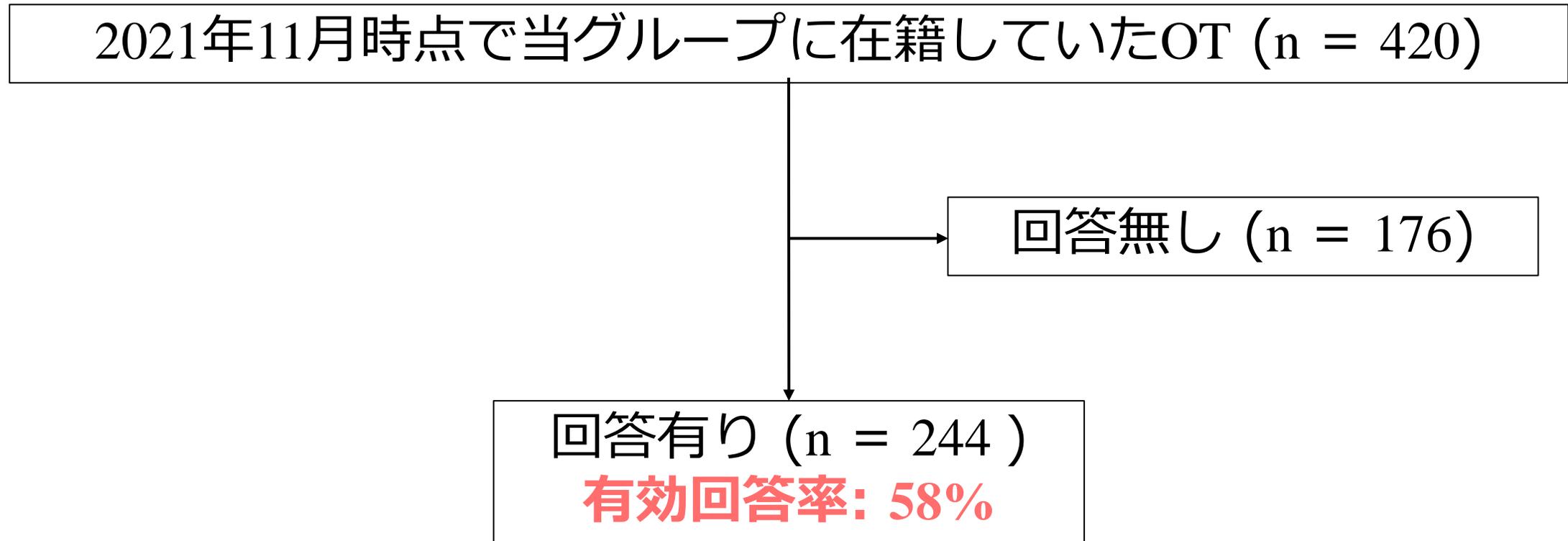
2. アンケート結果から得られた情報について

- 当グループのOTの卒後教育の指針を検討
- 有用性のある運営方法の検討

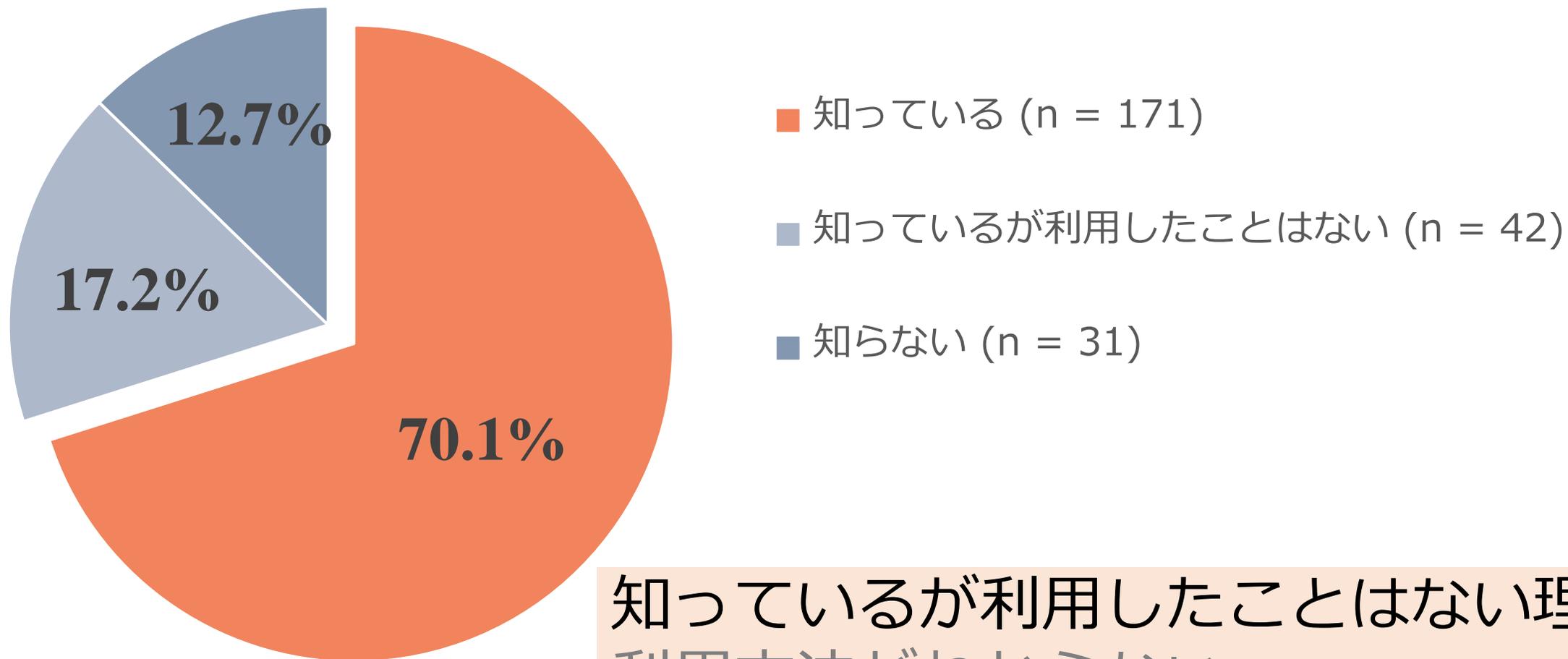


結果

フローチャート

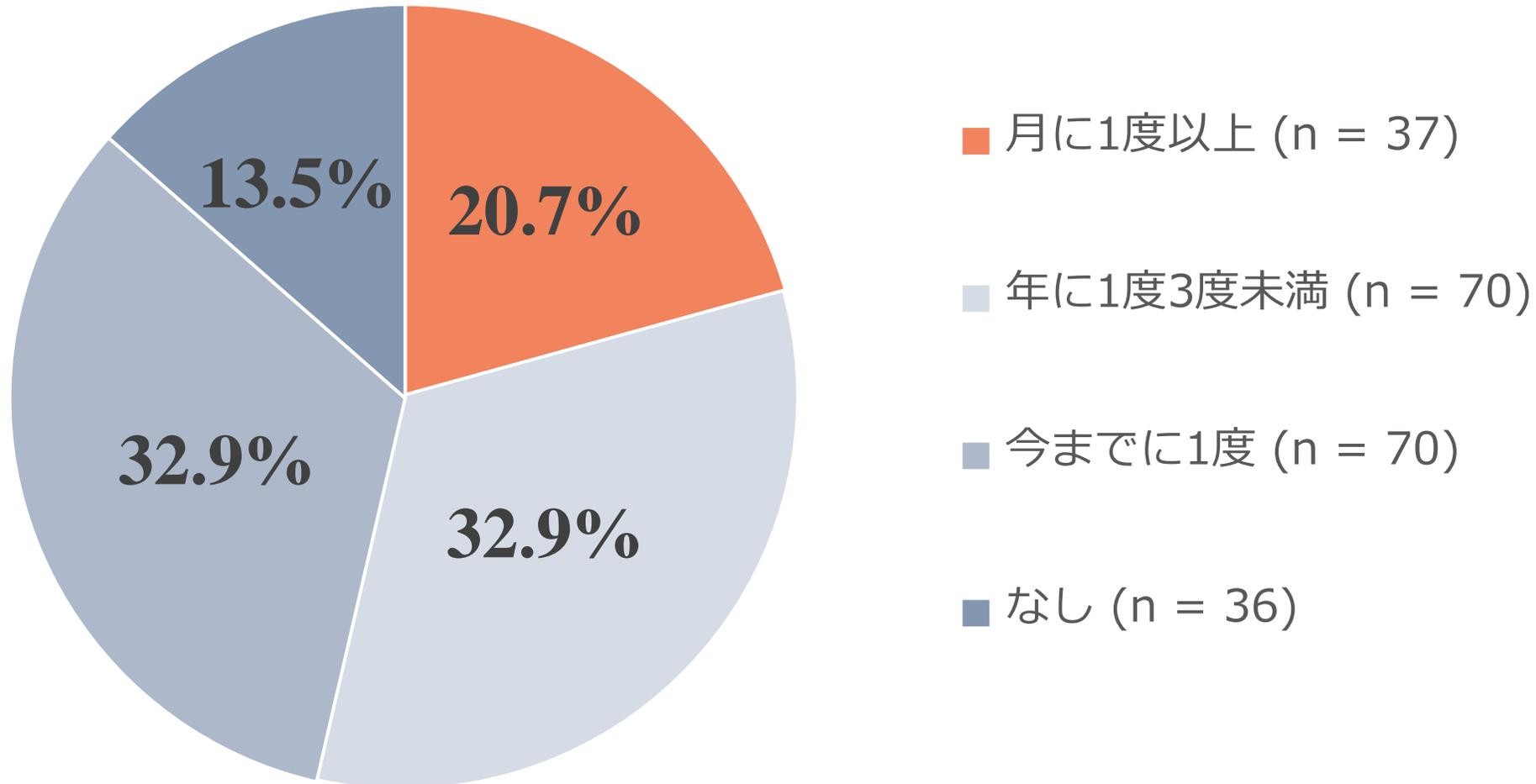


問1,OT推進チームが提供するポータルサイトを知っているか (n = 244)

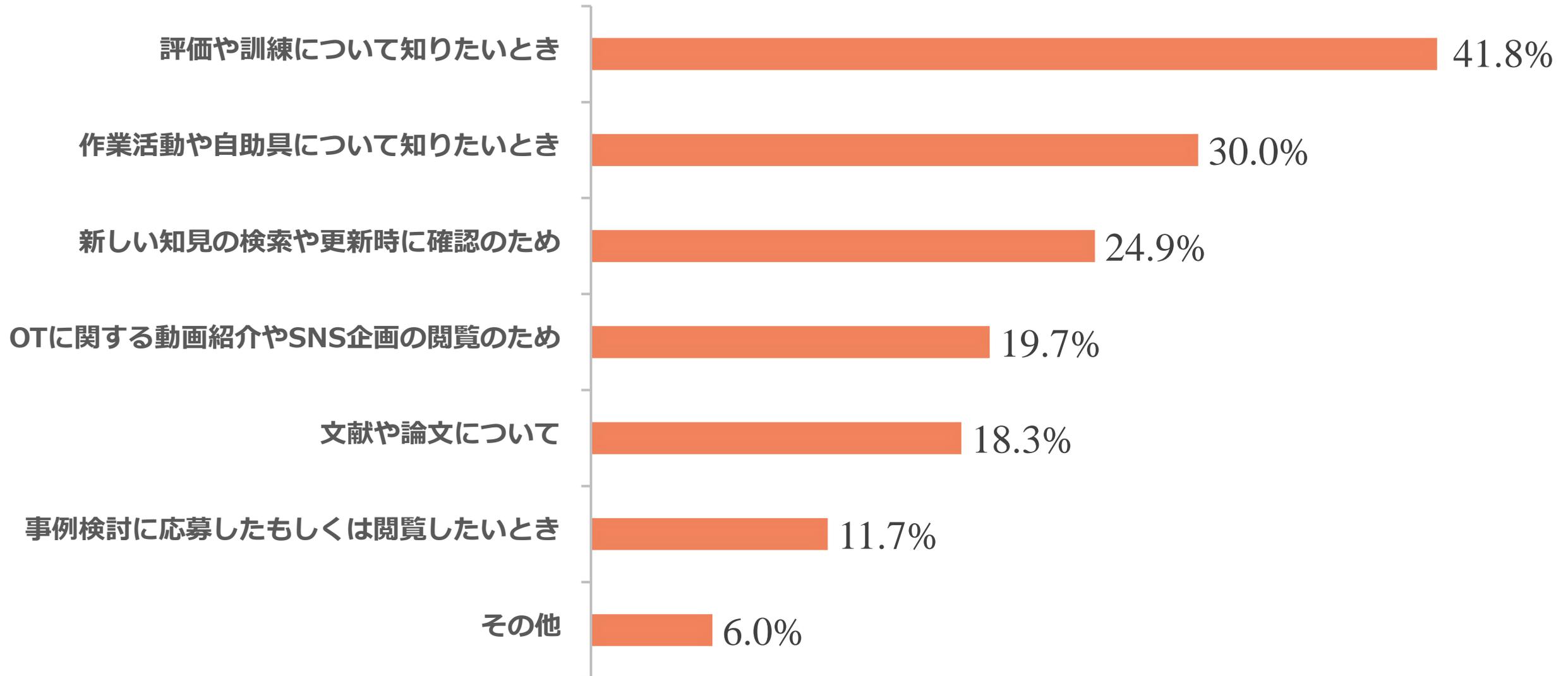


知っているが利用したことはない理由
利用方法がわからない
職場のネット環境が整っていない

知っているとは回答した方に
問2, どの程度の頻度で利用しているか (n = 213)



問3, どのような時に利用しているか (自由記述)



問4. 得た情報を普段の作業療法に生かしていると感じるか (n=213)	人数 (人)	割合 (%)
①非常に感じる	10	4.7%
②感じる	116	54.5%
③どちらともいえない	58	27.2%
④あまり感じない	23	10.8%
⑤全く感じない	6	2.8%

問5. OTポータルサイトの内容に満足しているか (n=213)	人数 (人)	割合 (%)
①非常に満足	11	5.2%
②満足	116	54.5%
③どちらともいえない	82	38.5%
④不満足	4	1.9%

「⑤非常に不満足」は該当なし

問6. 月に2回の更新頻度は満足しているか (n=213)

	人数 (人)	割合 (%)
①非常に満足	27	12.7%
②満足	110	51.6%
③どちらともいえない	74	34.7%
④不満足	2	0.9%

「⑤非常に不満足」は該当なし

問7. OTポータルサイトを利用したことで知識や技術に関する新たな気付きはあったか (n=213)

	人数 (人)	割合 (%)
①とてもあった	25	11.7%
②あった	120	56.3%
③どちらともいえない	56	4.2%
④あまりなかった	9	26.3%
⑤なかった	3	1.4%

問8. OTポータルサイトは使いやすいと感じたか (n=213)

	人数 (人)	割合 (%)
①非常に感じる	7	3.3%
②感じる	104	48.8%
③どちらともいえない	78	36.6%
④あまり感じない	21	9.9%
⑤全く感じない	3	1.4%

④,⑤と回答した方へ 理由をお答え下さい (自由記述)

ログインの仕方が分からない, 手間がかかる
欲しい情報を探しにくい

問9. OTポータルサイトの存在は自分にとって有用と感じるか (n=213)

	人数 (人)	割合 (%)
①非常に感じる	17	8.0%
②感じる	117	54.9%
③どちらともいえない	62	29.1%
④あまり感じない	14	6.6%
⑤全く感じない	3	1.4%

問12, 今後OTポータルサイトで新たに取り組んでほしい企画 (自由記述)

- 高次脳機能障害、認知症に関する知見
- 作業活動、自助具についての紹介

既にある企画の充実

- 最新のOTトピックス
- 利用方法の伝達
- 協会活動、学会情報などの発信
- 企業や社会の中でのOTの活動
- 他病院の活動やグループOTの取り組み紹介

新しい企画の要望

まとめ (要望や改善点に関する自由記述より)

肯定的な意見 約60%

- 現状で満足している
- これからも更新を続けてほしい

➡OTにとって有用な卒後教育の一助となっていた。

要望・改善点の意見 約40%

- もっと利用しやすくしてほしい
- 内容の更新やパスワードの更新を周知してほしい
- メールマガジンのような更新がわかる機能を付けてほしい

➡サイト利用の利便性が低く、利用しにくい

考察

- 遠隔地教育には①同期・集合型.②同期・分散型.③非同期・集合型.④非同期・分散型の4つがあり¹⁾,今回導入したサイトは④だった.

1) 高畑進一：医療専門教育へ ICTをいかに活用するかーその現状と今後.OTジャーナル 49 :838-842,2015

- 非同期・分散型では,いつでもどこでも自身のペースで学習を進められるため効率的だが,ドロップアウト率が高く,他者との交流が促進されにくい²⁾

2) 平城修吾: ICTで地理的制約を超えるー地方における卒後教育の現状と遠隔地教育.OTジャーナル 54: 266-270. 2020

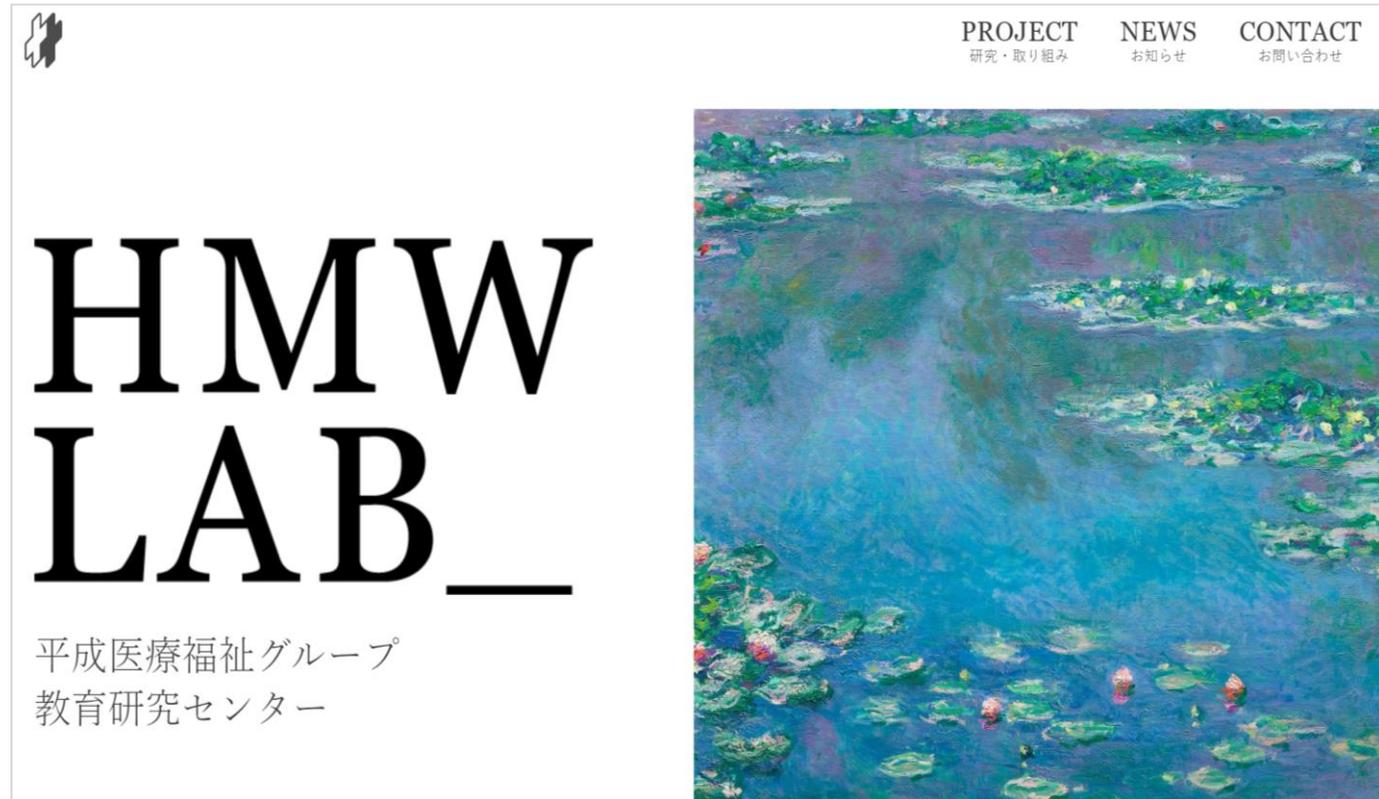


専門性をもったOTがより直接的な教育を行うためにサイトは有用であるが,継続して利用できるよう,ログイン方法の周知や簡素化と,多岐に渡る施設で働くOTが求めるコンテンツの掲載の検討が必要.

今後の展望

- 2022年9月より新サイトに移行
- ログインに共通のアカウントを必要とせず,手間が省けるため,より時間・場所を問わずに閲覧が可能
- グループ内情報以外は,グループ外のセラピストも閲覧が可能

デメリットを改善し
より利便性が向上



HOME > PROJECT > 作業療法士

作業療法士

Occupational Therapist

公開情報

グループ内情報

今月のピックアップ

2022/02/03

2021年度OTカレンダーランキング

2022/02/03

2020年度OTカレンダーランキング

2022/02/03

風船の可能性

2022/02/03

認定作業療法士への道！

CATEGORY ALL >

- > MTDLP - 7
- > 訓練道具の作成方法 - 6
- > 『評価訓練の動画』 - 6
- > 今月のピックアップ - 5
- > 認知症関連の推奨評価・治療 - 4
- > 作業療法の学び直し！ - 3
- > 研究デザイン - 2
- > 平成リハ学校（学生作品） - 2
- > 脳卒中関連の推奨評価・治療 - 2
- > 自助具作成 - 2
- > 事例報告へのアドバイスに対するアンケート結果 - 1

プロジェクトメンバー



HMW LABで検索 🔍 してみてください！